

(資料) 配置パターンの具体的検討

※表中の(括弧内)数値は、全パターンでの偏差値を示す(偏差値が高い方が、配送時間が短い、又は費用が安いとの望ましい状態を示す。)

パターン		パターン5			パターン9			パターン10			パターン12			パターン13		
対象予定地 及び提供食数	エリア	東部	南部	西部	東部	南部	西部	東部	南部	西部	東部	南部	西部	東部	南部	西部
	シミュレーション対象地※1	香椎浜周辺	那の津	福重周辺	香椎浜周辺	空港周辺	福重周辺	香椎浜周辺	旧当仁中跡	福重周辺	香椎浜周辺	箱崎建替	福重周辺	箱崎建替	空港周辺	福重周辺
	着手順位※2	1	2	3	2 or 1	1 or 2	3	2 or 1	1 or 2	3	1	2	3	2	1	3
調理食数		11,000	7,000	22,000	10,000	10,000	20,000	13,000	13,000	14,000	13,000	4,000	23,000	4,000	13,000	23,000
用途地域		準工(臨港)	商業(臨港)	準工	準工(臨港)	第1種住居	準工	準工(臨港)	第2種中高層	準工	準工(臨港)	準工	準工	準工	第1種住居	準工
公共交通利便性 ※3		○(バス)	◎(バス)	▲(バス)	○(バス)	◎(地下鉄)	▲(バス)	○(バス)	◎(地下鉄)	▲(バス)	○(バス)	▲(バス)	▲(バス)	▲(バス)	◎(地下鉄)	▲(バス)
対象校数		20校	15校	35校	20校	19校	31校	26校	23校	21校	26校	7校	37校	6校	25校	39校
配送時間	30~40分	16校			9校			9校			20校			11校		
	40~50分	1校			-			2校			6校			8校		
	30~50分合計	17校(46.1)			9校(63.7)			11校(56.9)			26校(39.3)			19校(44.0)		
	平均	22.4分(49.8)			21.4分(55.7)			20.3分(62.8)			25.0分(36.7)			23.3分(44.9)		
整備費用 (千円)	調理機器整備費	2,728,600(55.8)			2,688,000(59.7)			2,982,000(33.5)			2,785,300(50.5)			2,785,300(50.5)		
	建築施設整備費	9,054,077(44.9)			9,157,116(40.9)			9,111,788(42.7)			8,708,943(59.0)			8,627,724(62.5)		
	パターン合計	11,782,677(47.8)			11,845,116(45.5)			12,093,788(36.9)			11,494,243(58.4)			11,413,024(61.5)		
運営費用 30年間 (千円)	調理員人件費	14,257,728(54.9)			14,023,974(63.1)			14,825,417(36.0)			14,458,089(48.0)			14,458,089(48.0)		
	配送費用※4	6,512,508(50.5)			6,235,380(60.1)			6,373,944(55.2)			7,066,764(33.6)			6,512,508(50.5)		
	維持管理費用※5	20,788,890(49.2)			20,744,071(51.1)			21,140,998(33.9)			20,653,043(55.2)			20,532,294(60.6)		
	パターン合計	41,559,126(52.8)			41,003,425(63.2)			42,340,359(38.6)			42,177,896(41.5)			41,502,890(53.8)		
30年:整備運営費用(千円)		53,341,803			52,848,541			54,434,147			53,672,139			52,915,914		
1年あたり整備運営費用(千円)		1,778,060(51.5)			1,761,618(59.2)			1,814,472(34.8)			1,789,071(46.3)			1,763,864(58.2)		
(参考)土地の価格(資産価値)(千円)		4,313,594(50.5)			4,398,074(49.7)			6,853,375(33.8)			3,871,806(55.7)			3,544,199(60.3)		
他パターンとの 比較	配送時間	・30分以上の配送校がやや多い			・30分以上の配送校が最も少なく、40分以上がなく、配送遅延リスクが低い			・配送遅延リスクが低い →平均配送時間最短			・配送遅延リスクが高い。 →30分以上の配送校が最も多い →配送コストは最も高い			・配送遅延リスクが高い。 →30分以上の配送校が多い		
	コスト	・トータルコストは比較的安い			・トータルコストは比較的安い →年間整備運営費用は、最も安い			・トータルコストが最も高い →特に土地取得費、調理人件費			・箱崎の配送エリアが飛地となり、地元密着型が達成できない			・トータルコストが最も安い		
	配送エリアの バランス等	・配送エリアのバランスがやや悪い (那の津が南東部を重点的に配送)			・配送エリアのバランスが良い			・配送エリア、食数配分のバランスが良い			・箱崎の配送エリアが飛地となり、地元密着型が達成できない			・箱崎の配送エリアが飛地となり、地元密着型が達成できない		
	将来の柔軟性	・那の津建替時のローリング計画について、一時的な配送エリア変更等が必要など制約あり			・将来の柔軟性に関する大きな制約無し			・将来の柔軟性に関する大きな制約無し			・配送エリア設定に飛地が発生するため、将来の配送校変更の柔軟性が低い			・配送エリア設定に飛地が発生するため、将来の配送校変更の柔軟性が低い ・3施設共敷地制約で食数増加対応が不可能		
評価視点のレーダーチャート (偏差値別)																
総合評価	配送エリアバランスは中間的。配送効率はやや悪いが遅延リスクは低い。整備費用はやや高いが、運営費用はやや安い。	配送エリアバランスは良い。配送効率は良く、遅延リスクは最も低い。整備費用はやや高いが、運営費用が最も安い。			配送エリアバランスは最も良い。配送効率は最も良く、遅延リスクも低い。整備費用が最も高く、運営費用もやや高い。			配送エリアバランスは最も劣る。(飛び地の存在)配送効率は最も悪く、遅延リスクもやや高い。整備費用が最も高く、運営費用もやや高い。			配送エリアバランスは劣る。(飛び地の存在)配送効率はやや悪く、遅延リスクも高い。整備費用が最も安く、運営費用も安い。					
	○ 配送面や費用面等の全体のバランスは良くとれている。	◎ 配送面や費用面等の全体のバランスは最も秀でている。			△ 配送面での指標が秀でているが、費用面での指標が良くない。			▲ 配送面での指標が劣っており、費用面も運営費用の指標が良くない。			△ 費用面での指標が秀でているが、配送面での指標が良くない。					

※1 シミュレーション対象地は配送エリアの検討にあたり設定したものである。  
 ※2 着手順位は1頁の着手順位の考え方及び現有施設を含めたローリング整備計画に基づき設定したものであり、決定順位ではない。  
 ※3 公共交通利便性評価の目安 公共交通機関の天神行き直通日中一時間あたり本数(但し、電車徒歩1km圏内、バス徒歩500m圏内) ◎=概ね6本以上、○=概ね4本程度、△=概ね2本程度、▲=概ね1本程度、×=なし  
 ※4 配送車両台数は配送ルートの概略検討により設定した。  
 ※5 維持管理費用のうち、変動費(建築・設備維持管理費及び清掃業務)はH20年度維持管理関連費の実績値による単位面積あたり費用(福岡市アットマゼット長期保全計画書作成システムに基づき、床面積に応じた補正を実施)を用い、必要床面積に乗じたものの30年分。固定費(残渣処理、水光熱費、保守点検費、保険料等)は福岡市の平成20年度給食センター維持管理費用実績の30年分。修繕費は、建築・建築設備は福岡市アットマゼット長期保全計画書作成システム、調理設備は既往事例を踏まえ設定した。  
 ※上記整備費用のほか、中学校給食受所の改修及び増床を18校およそ5,700万円(試算)を別途要する。  
 ※土地によっては土壌改良や整地などの必要性により別途費用が生じる。